

3. 教職課程の履修にあたっての注意事項

(1) 履修登録制限単位について

時間割表に科目名とともに記載されている登録コードが「Z」で始まる科目については、履修登録制限に含まれません。そのため、制限単位を超えて履修登録することになりますが、予習・復習といった学修時間を確保する必要があるなど、綿密に履修計画を立てることが求められます。
具体的には下記の科目が履修登録制限に含まれません。

- ① 教職に関する科目
ただし、教職に関する科目を兼ねている教養教育科目・専攻科目は、制限登録単位に含まれます。
- ② 介護等体験に関する科目の「介護等体験」
- ③ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の「教職コンピュータ基礎」
- ④ 一部の教科に関する科目

(2) 抽選・選抜を実施する科目について

教員免許取得のために必要な科目は、大部分の教職に関する科目を除き、ほとんどが教養教育科目・専攻科目等です。これらの中には第1回履修登録期間内に登録をしないと受講できない科目がありますので、学部履修要項で確認しておくようにしてください。

(3) 2教科以上の免許状を取得しようとする場合の注意点について

- ① 「教科に関する科目」は、取得しようとする教科ごとに履修しなければなりません。
- ② 「教科に関する科目」以外は、取得しようとする教科にかかわらず共通ですが、「教職に関する科目」の教科教育法は、取得しようとする教科ごとに履修しなければなりません。

(4) 教員免許取得上の「必修」「選択」について

次のページ以降に出てくる履修要件の「必修」「選択」は教員免許取得上のものです。卒業要件の「必修」「選択」科目とは異なりますので注意してください。

(5) 次のページ以降に出てくる『分野』という記載について

- 「教養教育」→教養教育科目
- 「専攻」→専攻科目
- 「随意」→随意科目
- 「コース」→学部共通コース科目

(6) 教職課程に関わる諸連絡について

教職課程履修者はポータルサイト等を常に見るように心がけてください。
また、各種説明会等へは、必ず参加してください。無断欠席等の場合、履修できなくなることがあります。

2. 本学指定の必修科目（人権論）

2 単位必修

授業科目名	単位数	履修要件	分野
人権論 A	2	2 単位必修	教養教育
人権論 B	2		

1. 免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目	本学開講の関連科目及び単位数			
	科目名	単位数	履修要件	分野
日本国憲法	日本国憲法	2	必修	教養教育
体育	スポーツ技術学演習	2	2単位 必修	教養教育
	スポーツと人権・平和	2		教養教育
	健康とスポーツ	2		教養教育
	現代社会とスポーツ	2		教養教育
	人間とスポーツ	2		教養教育
外国語 コミュニケーション	英語総合1 (A)	1	2単位 必修	教養教育
	英語総合1 (B)	1		教養教育
	英語総合2 (A)	1		教養教育
	英語総合2 (B)	1		教養教育
	英語総合3	1		教養教育
	英語総合4	1		教養教育
	ドイツ語 I	2		教養教育
	フランス語 I	2		教養教育
	中国語 I	2		教養教育
	スペイン語 I	2		教養教育
	コリア語 I	2		教養教育
情報機器の操作	ICT リテラシー実習 A	1	必修	専攻
	ICT リテラシー実習 B	1	必修	専攻

2. 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		中学校教諭、高等学校教諭一種免許状					備考
科目区分	各科目に含める必要事項	本学開講科目	単位	履修要件	分野	配当年次	
教科の指導法に関する科目	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	※1	随意	3	※1 「各教科の必修科目一覧」参照
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2			3	
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2			3	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2			3	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論A	2	2単位必修	教養教育	2	A・B両科目履修が望ましい
		教育原論B	2			2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必修	随意	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	学校教育社会学	2	2単位必修	随意	2
	教育社会学		2	専攻		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学習・発達論A	2	2単位必修	教養教育	2	A・B両科目履修が望ましい
		学習・発達論B	2			2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必修	随意	2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必修	随意	2		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育指導法	2	※2	随意	3	※2中学校免許取得希望者は必修
	総合的な学習の時間の指導法(高校は「総合的な探究の時間の指導法」)	総合的な学習の時間・特別活動論	2	必修	随意	3	
	特別活動の指導法						
	教育の方法と技術	教育の方法と技術(ICT活用含む)	2	必修	随意	3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	必修	随意	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	必修	随意	3		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導Ⅰ	1	必修	随意	4	
		教育実習指導ⅡA	4	1科目必修	随意	4	※3中学校免許取得希望者必修
		教育実習指導ⅡB	2			4	※3高等学校免許取得希望者必修
	教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	必修	随意	4	※4
合計		中学校：37単位以上		高等学校：29単位以上			

※1 各教科の必修科目一覧

免許状取得に関する教科教育法の修得科目の組み合わせは、以下のとおりです。

取得免許教科	必修科目			
中一種免 「社会」 (計8単位必修)	社会科・ 地理歴史科教育法Ⅰ (2単位)	社会科・ 地理歴史科教育法Ⅱ (2単位)	社会科・ 公民科教育法Ⅰ (2単位)	社会科・ 公民科教育法Ⅱ (2単位)
高一種免 「公民」 (計4単位必修)	社会科・ 公民科教育法Ⅰ (2単位)	社会科・ 公民科教育法Ⅱ (2単位)	—	—

「〇〇科教育法Ⅰ」は「〇〇科教育法Ⅱ」よりも前に修得しなければなりません(先修科目)。

※2 高校免許取得希望者が、中学校免許取得に必要な「道徳教育指導法(2単位)」を修得した場合は、法律で定める「大学が独自に設定する科目」に充てられます。ただし、本学で高等学校一種免許状取得に必要として開講している「教科及び教職に関する科目」には充当できません。

※3 中高両免許取得者は「教育実習指導ⅡA」(4単位)を登録すること。詳細については、9ページ「3. 教育実習について」を参照してください。

※4 「教職実践演習」の履修については、14ページ「5. 教職実践演習の履修について」を参照してください。

履修年次は変更になる可能性があるため、必ず履修登録時に時間割等で確認をしてください。

3. 教科に関する科目

開講状況・配当セメスター等については、必ず毎年度、時間割表・Webシラバス等で確認してください。

中学校教諭一種免許状

社会

() 内は単位数

免許法施行規則に定める科目区分	本学開講の関連科目及び単位数				
	必修単位	必修科目	分野	選択科目	分野
日本史・外国史	8	日本史概説 (4) 外国史概説 (4)	専攻 専攻		
地理学 (地誌を含む。)	12	人文地理学 (4) 自然地理学 (4) 地理学(地誌) (4)	専攻 専攻 専攻		
「法律学、政治学」	4	法学概論 (4) 政治学概論 (4) 《2科目中1科目必修》	専攻 専攻	社会保障論 (4)	専攻
「社会学、経済学」	12	社会学概論 (2) 社会学への招待 (2) 社会福祉学への招待 (2) 公共社会学Ⅰ (2) 社会調査入門 (2) 社会イノベーション実践論 (2)	専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻	経済原論 (4) 地域社会学 (2) 文化と表象の社会学 (2) 宗教社会学 (2) 環境社会学 (2) ジェンダーと家族の社会学 (2)	専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻
「哲学、倫理学、宗教学」	4	哲学概論 (4) 宗教学概論 (4) 《2科目中1科目必修》	専攻 専攻		
計		40単位		できるだけ履修しておくことが望ましい	

履修上の注意

必修科目40単位を修得しなければなりません。選択科目はできるだけ履修しておくことが望ましいです。必修科目中、規定以上に修得した科目は選択科目として認められます。

高等学校教諭一種免許状

公民

() 内は単位数

免許法施行規則に定める科目区分	本学開講の関連科目及び単位数				
	必修単位	必修科目	分野	選択科目	分野
「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	4	法学概論 (4) 政治学概論 (4) 《2科目中1科目必修》	専攻 専攻	社会保障論 (4)	専攻
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	12	社会学概論 (2) 社会学への招待 (2) 社会福祉学への招待 (2) 公共社会学 I (2) 社会調査入門 (2) 社会イノベーション実践論 (2)	専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻	経済原論 (4) 地域社会学 (2) 文化と表象の社会学 (2) 宗教社会学 (2) 環境社会学 (2) ジェンダーと家族の社会学 (2)	専攻 専攻 専攻 専攻 専攻 専攻
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	4	哲学概論 (4) 宗教学概論 (4) 《2科目中1科目必修》	専攻 専攻		
計		必修科目20単位を含め、計30単位以上を修得			

履修上の注意

必修科目20単位を含め、計30単位以上を修得しなければなりません。
必修科目中、規定以上に修得した科目は選択科目として認められます。